

生き逝きて生命輝け！島根の地域医療

「臨床の現場はきれいなことで語れない。厄介な患者さんも来るけれど、許容しなければならぬ。患者さんも、傲慢な医者も許していたわけです。医療の場で互いに許し、受け入れて、初めて歩んでいけたりする。時には腹が立つし、耐え難いけど、許容がないと、互いにぐつと育たない」

(野の花診療所長 徳永進)

2005



住民～行政～医療機関～大学
協働

長寿高齢社会となり、人生の最後まで生命輝いて生き、安らかに満足して人生の幕を閉じることが多くの人々の強く希求する共通課題となっております。この新しい年2005年の幕開けに当たり、輝いて生き、満足して逝く人生を支える人間的な緩和ケアの在り方を考え、語りあい、人間尊厳の医療を島根県の隅々に創り上げたいと思います。

日時：平成17年1月23日(日) 13:30～16:30

場所：ビッグハート出雲 白のホール ※入場無料

(お車で出雲の方は専用駐車場または市営駐車場(駅南駐車場、駅高架下駐車場、駅北駐車場)をご利用ください。市営駐車場は有料ですが、シンポジウムにご来場の方に限り開催時間中を無料といたしますので駐車券をご持参ください。ただし台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関でお越しください)

(プログラム)

1. 13:30～13:40 開会挨拶

2. 13:40～14:40 特別講演 **“野の花診療所の日”**

徳永進(野の花診療所長)

座長：加藤哲夫(島根県医師会副会長)

3. 14:40～16:30 シンポジウム **“人間尊厳のターミナルケアをどう構築するか”**

司会：山根洋右(島根大学副学長)

助言者：永末直文(島根大学医学部長)

シンポジスト：

- | | |
|------------------|----------------------|
| (1) 患者の立場から | 佐藤均(出雲市在住) |
| (2) 草の根の医療者の立場から | 古瀬俱之(島根在宅ケア研究会長) |
| (3) 看護師の立場から | 周藤富士子(島根県立中央病院副看護師長) |
| (4) 公的病院の立場から | 中川正久(島根県立中央病院長) |
| (5) 大学の立場から | 加藤譲(島根大学医学部附属病院長) |

指定発言：齊藤洋司(島根大学医学部麻酔学講座教授)

主催：島根大学 共催：出雲市 出雲市健康文化都市推進ネットワーク会議
後援：島根県 島根県医師会 日本農村医学会 ヘルスポリシーネットしまね

お問合せ：島根大学社会・国際連携課 TEL 0852-32-9757 FAX 0852-32-6481